

「ICT機器に関するアンケート」結果



佐賀県公立小中学校事務研究会・情報推進部

研究調査・編集責任：会長 古川 治

「ICT機器に関するアンケート」結果 市町別状況一覧

質問事項	学校数		1.電子黒板(IWB)があるか(複数回答可)							2.書画カメラ(実物投影機)があるか(複数回答可)							
	小学校数	中学校数	はい	いいえ	「はい」と回答した場合以下より選択					はい	いいえ	「はい」と回答した場合以下より選択					
					室① に、全 ての 普通 教室 に配 置	室② に全 ての 普通 教室 に配 置	室③ に一 部の 普通 教室 に配 置	援④ 教一 部の 特別 教室 に配 置	⑤ その 他			「⑤その他」回答を選択した場合は記述	室① に、全 ての 普通 教室 に配 置	室② に全 ての 普通 教室 に配 置	室③ に一 部の 普通 教室 に配 置	援④ 教一 部の 特別 教室 に配 置	⑤ その 他
1 佐賀市	35	18	○		○		○			○			○				
2 唐津市	33	18	○		○					○			○				
3 鳥栖市	8	4	○					○	中学校:全普通教室に電子黒板あり。小学校:来年度、全普通教室に電子黒板設置予定。現在は各学校1台くらい。	○			○				
4 多久市	3	3	○					○	市内全小学校の普通教室、市内全中学校の特別教室の一部に配置されている。	○					○	各学校に2~3台あり、必要に応じて使用している。利用頻度の高い理科教室については常設している。	
5 伊万里市	16	8	○					○	小学校には、規模によって1台~複数台配置されており、必要に応じて(移動して)使用している。中学校には電子黒板はほとんど入っていない。	○					○	各校の所有台数は異なり、利用頻度の高い理科教室等については常設している学校もある。その他は、必要に応じて使用している。	
6 武雄市	11	5	○					○	各学年に1台配置されており、必要に応じて使用している。市内はどこも学校も大体同じである	○					○	学校に4台あり、必要に応じて使用している。2台は電子黒板とセットになっている。	
7 鹿島市	7	2	○					○	1階に1台、2階に2台あり、必要に応じて使用している。	○					○	学校に2台あり、必要に応じて使用している。	
8 小城市	8	4	○	○						○			○				
9 嬉野市	8	4	○					○	各階に1台配置されており、必要に応じて使用している。	○				○			
10 神崎市	7	3	○		○		○			○			○				
11 吉野ヶ里町	2	2	○		○		○			○			○				
12 基山町	2	1	○			○			中学校:全普通教室に電子黒板あり。小学校:来年度、全普通教室に電子黒板設置予定。現在は各学校1台くらい。	○			○				
13 上峰町	1	1	○	○						○				○			
14 みやき町	4	3	○	○						○							
15 玄海町	2	2	○					○	各学年に1台配置されており、必要に応じて使用している。	○					○	各学校約10台ずつ有り、基本的には普通教室に配置されているが、必要に応じて特別教室等で使用している。	
16 有田町	4	2	○					○	各学年に1台配置されており、必要に応じて使用している。	○					○	各学校に1~2台あり、必要に応じて移動して使用している。	
17 大町町	1	1	○	○						○	○						
18 江北町	1	1	○		○		○			○			○				
19 白石町	8	3	○					○	各学年に1台及び一部の特別教室に配置されている。	○					○	IWBのすべてに配置している。	
20 太良町	2	2	○		○					○			○				

「ICT機器に関するアンケート」結果 市町別状況一覧

質問事項	3. 児童・生徒用のタブレットPCがあるか					4. これらのICT機器を使いこなせていると思うか		5. これらのICT機器が教育に必要なと思うか				
	はい	いいえ	① 全ての児童・生徒に配布	② 一部の児童・生徒に配布	③ その他	はい	いいえ	はい	いいえ			
					「②一部の児童・生徒に配布」、「③その他」回答を選択した場合は記述							
						可能であれば理由を記述			可能であれば理由を記述			
1 佐賀市	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	生徒会用に1台、特別支援用に2台のiPadとメディアセンターにSurface40台整備している。	<input type="radio"/>		全体的には使いこなせている。今後も継続的な研修と、専門的知識を備えた職員の常時配置が不可欠と思う。	<input type="radio"/>		とくに理科の実験や数学の立体図形、技術家庭などの実技4教科の教育に効果があると思う。
2 唐津市		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
3 鳥栖市		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
4 多久市	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	西浜小学校に業者(シャープ)の実証試験として20台ある。	<input type="radio"/>		小学校は毎日授業で活用している。中学校も特別支援教室にICT機器(IWB)が整備されているので活用している。	<input type="radio"/>		視覚的に訴えるため教育効果がより上がると思う。
5 伊万里市		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>		伊万里市は予算が少ないため、ICT機器の整備も遅れており台数も少ないが、職員によっては積極的に活用できるよう努力している。	<input type="radio"/>		
6 武雄市	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			市内の全小学校に一斉に配布されている。中学校もH27年に配布予定である。	<input type="radio"/>		教員の方は大分勉強もされて、頑張っていると思うが、タブレットが外国製で故障や不具合が頻発している。	<input type="radio"/>		「はい」に○を付けたが正直自分は微妙に思っている。ネットを繋ぐだけとか、教科書と内容が一緒であれば、眼先を変えた「高価な大人の玩具」にならねない。
7 鹿島市		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>		基本的なことは使いこなしているが、電子黒板がうまく起動しないときには担任で対応できないことがある。	<input type="radio"/>		学習を進める上で、視覚的にも分かりやすい。
8 小城市	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		ログイン用のカードを配布し、時間帯毎に使用する学級を決めている。	<input type="radio"/>		職員により差があるが全体的に使いこなせていると思う。不具合があった場合に対応できない時もある。子どもたちは使いこなせているように思う。	<input type="radio"/>		視覚的に訴えるという点で、児童・生徒の興味を引き出すため教育効果がより上がると思う。また、今後のペーパーレス化を考えれば必要であると思う。
9 嬉野市	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	パソコン室に41台配置されており、必要に応じて使用している。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
10 神崎市	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	市内中学校3年生に配布されたばかり(保管・管理は学校)。現在調整中のため、授業ではまだ利用していない。	<input type="radio"/>		使い方を完全に習得できていない職員もいるが、全体的には活用しながら授業を行っている。	<input type="radio"/>		児童の関心を引きことができ、また、紙面では説明しづらいことを詳細に説明できるため、必要だと考える。しかし、ICT機器はあくまでも手段であるため、児童の能力や授業の進め方に支障が出るのであれば、無理して利用する必要はないと思う。
11 吉野ヶ里町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	各学校のPC教室に40台(教師用含む)配置。	<input type="radio"/>		児童・生徒支援ソフト等の環境整備が充実しておらず、知識や経験の浅い職員もいるが、全体的には使用できていると思う。	<input type="radio"/>		児童・生徒の興味や関心は非常に高い。黒板やその他教材と併用して活用すれば非常に高い効果が得られると考える。
12 基山町		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
13 上峰町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	各学校に児童・生徒用40台、教師用2台配置。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
14 みやき町	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		小規模校である三根西小・三根東小には各60台、その他の小学校及び全中学校には100台整備されている。	<input type="radio"/>		若手職員の方がより使用しているように思うが、全体的には使いこなせている。	<input type="radio"/>		児童・生徒が視覚的に情報を得やすく、児童・生徒間の情報(回答など)を共有できるため。
15 玄海町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	学校に約50台配布されている。PC教室に配置されており、主に高学年が使用している。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
16 有田町		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>		ICT支援員の方の協力により、教科によっては活用ができています。	<input type="radio"/>		今からのより高度な情報化社会では、ある程度機器等に慣れておくのも必要だと思う。また、効果的に機器を活用できれば、学力向上につながる。
17 大町町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	学校に41台あり、必要に応じて使用している。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
18 江北町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	学校に42台パソコン室に導入。必要に応じて使用している。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		デジタル教科書を使用しているのが必要。
19 白石町	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	パソコン教室に配置し、移動WiFiセットを利用すれば他の教室でも使用可能。	<input type="radio"/>		ほぼ全教科でデジタル教科書を利用している。	<input type="radio"/>		時代のニーズに対応した教育を推進するためには、必要不可欠となりつつある。
20 太良町		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>		基本的な部分は全職員が使いこなせているが、完全ではない。	<input type="radio"/>		電子黒板は教師の省力化、写真や動画などはわかりやすさを提供できると思うが、タブレットは特別支援以外では逆に機器の管理の負担が増えるため現状ではない方がよいと思う。ただし、費用対効果は非常に悪いと思う。

「ICT機器に関するアンケート」結果 市町別状況一覧

質問事項	6. ICT支援員はいるか			7. ICT支援員を活用できていると思うか			8. ICT教育はどのような場面で、どのように使えばよいと思うか		
	はい	いいえ	勤務状況や業務内容を記述	はい	いいえ	可能であれば理由を記述	可能であれば記述		
1 佐賀市	○		11月～12月の間、週1日勤務し、主にTTとしてパソコン教育の指導補助や学校HPの更新、資料作成などを行っている。	○		週に1日のみ勤務されるので、時間いっぱい活用できている。	現段階は導入期であるので、あくまで板書中心として補助的にICT機器を活用する授業方式をとった方がよいのではないかとと思う。		
2 唐津市		○					動画で動きを見せたほうが良い場合、その他にもカラーで出力して見せたほうが良い場合に使う。		
3 鳥栖市		○					簡単に教材等を提示できるので時間を有効に使うことができ、授業や児童指導など様々な場面での活用が期待できる。		
4 多久市	○		市内に3名配置されており、一日5時間、一か月15日勤務している。主な業務として、ICT機器の準備、ICT機器のメンテナンス、HP更新などがある。	○		ICT支援員が多くの業務を担当しているため、なくてはならない存在になっている。	児童・生徒に興味を示して欲しい場合など、視覚的に訴えたい時に活用できると思う。		
5 伊万里市		○							
6 武雄市	○		一日6時間、週2回勤務し、主にパソコン教育の指導補助や学校行事などの資料作成などを行っている。学校によって形態が違うようだ。	○		これも学校によって大きく違いがあると思う。県全体でICT支援員を雇うとなれば、佐賀県の規模からして、人手不足に陥ると思う。			
7 鹿島市		○							
8 小城市	○		小城市に3人配置されており、その都度必要に応じて派遣してもらっている。パソコンのメンテナンスなど、不具合の対応を行っている。	○		危機に不具合が発生した場合などに大変助かっている。	不登校児童の支援などで活用できると思う。		
9 嬉野市	○		市内全小中学校に対して1名の支援員が配置されており、一日6時間、各学校に月1～2回勤務し、主にTTとしてパソコン教育の指導補助や資料作成などを行っている。	○					
10 神崎市	○		1日6時間勤務で、2校を掛け持ちしている。週のうち2日は本校で、残りの3日は隣の学校に勤務をしている。	○		電子黒板利用時のトラブル解消や、教材作成はもちろんのこと、普段のパソコンの利用で困った時にも助けになっている。	普段の授業の中で、映像を見せたり、他の人の意見を共有することで自分の考えを広げたりするために活用すればよいと思う。また、実社会において、プレゼンテーションや事務処理能力が必要とされるため、それらの技能を早くから身に付けさせることも必要だと思う。ただ、ICT機器を使うことが目的となるべきではなく、ICT機器を使うことが適切でないものに関しては、より効果のある方法を遠くまであり、無理して使う必要はないと思う。		
11 吉野ヶ里町		○					主要5教科(4教科)にとどまらず、実技系の教科でも生徒(児童)の作品を、画面を通して共有したり、録音して振り返りを行うなどあらゆる場面で一人ひとりの個性や能力に応じたわかりやすい授業が実施できる。また、これからの国際社会で必須となる情報活用能力の向上などの効果が期待される。		
12 基山町		○							
13 上峰町		○							
14 みやき町	○		中学校区毎に一人配置されており、各週で一日7時間45分勤務している。主に、教材作成や授業準備、PC・タブレット設定などを行っている。	○		十分に活用できている。職員も頼りにしている。	特に、児童・生徒に視覚的に訴えたい場合に効果があると思う。主要5教科でも十分に効果がでていて感じているが、みやき町では体育館にも可動式電子黒板があり、器械運動などの単元で視覚的に訴えて児童・生徒に指導できている。		
15 玄海町	○		終日、週3回勤務し、主にTTとしてパソコン教育の指導補助や学校HPの更新、資料作成などを行っている。	○					
16 有田町	○		1日7時間、週2回勤務し、主に各先生方に投函端末PCのアプリ(ワード等)の操作支援及び、軽度の障害復旧動作、電子黒板の操作支援・HPの更新及び情報担当先生からの業務依頼内容の処理等を行っている。	○		ICT支援員の方には、教材の資料作成補助や、電子黒板の操作の支援を実施し、かつ、軽度のPCメンテナンスをしていただき、活用ができています。	児童・生徒に対して、電子黒板(モニター)とPC及び書画カメラ等を使用して、パワーポイント及びデジタル教科書を活用して、教科のデジタル化(視覚化)を図り、そのことによって、生徒が授業に興味やわきま力向上につながるように使っている。		
17 大町町		○							
18 江北町	○		一日7時間、週2回勤務し、パソコン教育の指導補助、資料作成、定期的に機器の点検などを行っている。町内2校で勤務。	○		授業においても機器の管理においても、必要不可欠である。			
19 白石町	○		3名配置。一日7時間、月17日、町内3～4校を兼務。教材作成、ICT授業支援、IWB等教材用端末のメンテナンス等を行っている。	○		多岐にわたりに活用しており、配置の重要性が増している。	デジタル教科書を利用した授業等、今後はICT教育が普通の風景となることが予想される。		
20 太良町	○		一日6時間程度、日によって多少変わる。機器の不具合の解消・パソコン教育の指導補助や学校HPの更新、資料作成などを行っている。	○		ほぼ常駐なので頼みやすい。	個人的にはスーパーティーチャーの授業をすべてビデオ撮影し、どの学校でもどこからでも視聴できるようにすれば、面白いと思う。生徒も面白いし、教師も勉強になる。また担任の授業をビデオ撮影し、空席でも見るようにすれば、親ももっと教師を身近に感じようと思う。全員の教師がやれば、何年も出して他校への研修金へわざわざいく必要もなくなる。タブレットは特別支援用のソフトがかなり充実しているように思うのでまずは特別支援での活用を優先したほうが良いと思う。全員がやるのは研修費がかなりかかるけれど、現状ではやることと主要5教科の普通教室で使うならばグループには程度で十分だと思う。タブレット上やPCを。それを自費で買ってきて出た。つづけているものを把握できるようにすれば全員に身えなければいけないが、将来的には児童がタブレット上で動画などの説明を見て、問題を解き、それでもわからないところを教師や周りの友達に聞くようになるのではないかと思う。公立の小中学校では色々なレベルの児童が混在しているため、最終的には個別対応を目指していくべきではないかと思うのがその理由。今はまだソフトがない。		